

プログラムの目的

本プログラムの設置により、次の2つの事項の実現を目指す。

- ① 数理・データサイエンス・AIについての発展的な内容を学び、データから意味を抽出し、**現場にフィードバックする能力**や、AIを活用し、**課題解決につなげる基礎能力の修得**
- ② 自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための、**大局的な視点の獲得**

開講科目と修了要件

科目区分	要件	科目名
基盤科目	必修 (2科目4単位)	総合講義（データサイエンス入門） 経済統計Ⅰ
展開科目	選択必修 (3科目6単位以上)	DSリテラシー ビジネス統計Ⅰ ビジネス統計Ⅱ 経済統計Ⅱ 経済数学 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 経営情報論 サービス・ビジネス論Ⅰ サービス・ビジネス論Ⅱ 文理融合型実習A（DSとの連携） 特講（経済とデータサイエンス）

実施体制

本プログラムの目的を達成するために、国際商学部教授会内の委員会として、「**データサイエンス人材育成プログラム（国際商学部）管理部会**」を設置し、**履修者数や修了者数を向上するための取組**やプログラムの**改善・進化に向けた取組**を推進する。

なお、本プログラムの履修者数・修了者数を向上するための具体的な取り組みとしては、次の事項が挙げられる。

- ・ 令和5年度以降の入学生は、原則として**全員、本プログラムに参加**することとし、令和8年度までに**参加率100%**を目指す。
- ・ 必修科目の**経済統計Ⅰ**については、**並行科目を設置**することで、**多くの学生が履修できるような工夫**を行う。
- ・ 毎年4月に学年ごとに実施する新入生・在校生**オリエンテーション**において、**本プログラムの周知**及び修了に必要な科目についての**履修指導**を徹底する。
- ・ 修了者に、学生による投票結果を反映させたデザインの**デジタル学修証明（オープンバッジ）**を発行し、**修了のインセンティブ**を付与する。



身につけられる能力

以上の実施体制により、本プログラムの学修成果から**身につけられると期待される能力**は次の通りである。

- ・ **自らの専門分野への数理・データサイエンス・AIの応用基礎力**
- ・ **社会に出て、数理・データサイエンス・AIを活用し、様々な課題を解決する能力**